

JAいけだ CREATION

今月の表紙写真は1月25日（月）に行われた、池田農協青年部と高島農協青年部の2JAスポーツ交流会の集合写真です。



CONTENTS

- * 部会長研修報告
- * 十勝池田町フェア開催
- * 第28回 JA北海道大会
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ 協同組合と報徳
- * 納付課より

- * 金融共済課より
- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 今月の 1 枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2016.

2
FEBRUARY

No.074

部会長研修報告書

金融部池田支所 課長 三好清司

11月24日（火）～27日（金）にかけて部会長研修を実施し、部会長9名の参加のもと北陸・関東方面を視察してきましたので、ご報告いたします。

11月24日（火）
『金沢市農業センター』視察

加賀野菜の紹介→金沢市農産物ブランド協会では、古くから市民に親しまれ、金沢で栽培されている野菜のうち、15品目を加賀野菜として認定し、積極的に消費宣伝に努めているとのことで、加賀野菜のうち、店先から姿を消しつつある伝統野菜について、種の保存、栽培技術の継承と生産の維持を図っているとのことで持りました。

賀つるまめ、金沢一本太ねぎ、くわい、赤ずいき、金沢春菊、せり、二塚からしなどのことである。

平成26年度販売金額は、14億8300万円で、中でも収益性の高い品目は、加賀れんこん、さつまいもで、かなり収益性が高いとのことで、若手の担い手の方が



今後の課題としては、①担い手の確保・育成（生産ロットの確保）②品質の維持・向上（品質管理体制の強化）③価格の安定・維持（差別化）④加工食品業界との連携強化（販路開拓・拡大）⑤ブランド力の維持・向上の5点があげられるとのことでした。





(有)菜匠 尾村社長による加工食品等の説明をしている様子

11月25日(水)

JJA富山『なのはな』直売所見学

グリーンパワー『なのはな』では、富山市内の古代米（黒米・赤米）やなたね油をはじめ、人参、白ねぎ、チンゲン菜など、野菜が中心に販売されており、また地元富山の学校給食向けに安心・安全な野菜を生産し、供給しているとのことでした。

11月27日(金)

『(有)菜匠』視察

(有)菜匠の本社工場、第2工場、市場（第3工場）の

3工場を見学して参りました。

現在、最大生産日量約10万パック可能とのことで、現在3工場目を賃貸で小山市場内の場所を借りて行っているとのことでした。更には、加工食品も手掛けており、当JAの生産者である株式会社農産のトヨシロ馬鈴薯が土の匠厚じやがーとして、ポテトチップスになつていました。試食もさせていただき、厚切りで食感も良く本当に美味しいポテトチップスでした。

JAとの取引金額は、1億8097万円で馬鈴薯を中心、玉ねぎ、か



(有)菜匠の最新式袋詰作業機械

11月27日(金)
『横浜税関』視察

ぼちや、小豆と幅広く取引をさせていただいてあります。今回3つの工場を見学させていただきましたが、取引金額が右肩上がりになつていい訳が理解できました。

横浜税関内での、夏の猛暑を数年港で過ごした「きゅうり」

产品に化ける実態を見学して参りました。
輸入食品の多くはそれぞれの「产地」に運ばれて、その土地の特産物として販売されているという。(きゅうり・なすなどは特にコンビニ弁当の漬物等に化けているという。)

更には、横浜税関に入つてくる輸入食品の内、検疫所で検査されるものは全体のわずか2・8%にしか過ぎないといふ。またTPP交渉の妥結により、アメリカより1200品目が更に増加する見通しなつております。今後検疫される割合は、益々減少するものと思わ



横浜税関で、夏の猛暑を数年港で過ごした「きゅうり」

れ、輸入食品はほぼフリーの状態で日本に入つてくる様になり、更に恐ろしい状況になるとのことでした。

研修を終えて

4日間、あいにくの天候状況ではありましたが、和氣藪々の中、参加者10名が、何事もなく無事、元気に全ての研修行程を終えることができました。参加した部会員の皆様、大変ご苦労様でした。

十勝池田町フェア開催



12月19日、札幌の東光ストア2店舗において十勝池田町フェアを開催致しました。当JAからネバリスター、南瓜、ゆり根、ヤーコンの各部会より計6名に参加して頂きました。今回の店頭販売はネバリスターの主要取引先の株式会社ワタリ様の協力により店頭販売が実現しました。

店頭販売当日は、朝から雪や風が強い悪天候でしたが、その中でも、試食販売を通し、地道にお客様に声かけを行っていると、徐々に客付きも良くなり、試食をした方は口々に「美味しい！買っていく！」と話しておりました。特に冬至南瓜の九重栗イレブン（商品名：甘九郎）の売れ行きは上々で、試食した方の9割以上が購入して行きました。



東光ストア店頭販売の様子

参加して頂いた皆様からは、長時間、慣れない販売での疲労感よりも自分の作った作物がお客様に喜んでもらっていることがとても嬉しかったと話しておりました。

これからも店頭販売を通し、消費地の生の声を聞く機会を作っていきます。また、今後もJA十勝池田町として生産者、職員で一丸となって消費地に美味しい農産物を提供していきましょう。

（記事・農産部農産課 上野 駿）

第28回JA北海道大会 パネルディスカッション

**農業価値の向上をけん引する北海道農業
若者がほしがる我が国農業**

北海道経済連合会 名誉会長

近藤龍夫氏

JJA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJJAグループに期待すること」を5回シリーズで紹介します。



近藤龍夫氏

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJJAグループに期待すること」を5回シリーズで紹介します。

世界的には、『国土を保して『守ること』、『工エネルギーを確保すること』、『農業を中心とする食を守ること』この3つが国として最低限度的ななければならないこと』。国家的に食・農業を価値ある重要なことと位置付けている国がたくさんある。食・農業を大事にしなければならない。

しかし、わが国では、農業的重要性、農業価値が忘れられてきた感がある。将来的には世界的な食料危機がささやかれ始めており今こそ農業の重要性の国

農業価値とは農業の存在価値的な意味合いと理解して頂きたい。

世界的には、『国土を保して『守ること』、『工エネルギーを確保すること』、『農業を中心とする食を守ること』この3つが国として最低限度的ななければならないこと』。

これから農業政策において、国民に必要な基礎的な食材にあたる重要な品目については、国が一定の自給力を確保するということを前提として、確たる生産目標と、その実現のための政策・制度を定める。そして、目標達成に協力する優良な農家が安心して生活し、生産に励むことができるよう守るべくところは守るなどして、生産環境を整備し

てていく必要がある。このような生産環境づくりの政策提言や生産活動の推進すなわち農業価値向上のけん引役として、北海道が産学官一体となって国を推動かして実現を目指すべき。これが実現してこれまでの猫の目に変わる対策型の政策ではなく不動の政策となれば、国民とりわけ農業者の望むところであって、「若者がほしがる農業」として目指すことなどが明確になるので、将来に希望がもてる北海道農業が実現していくのではないかと信じている。

**北海道農業実現に向け
国の制度つくりを**

最後に一言

力強い農業が今回の大会の基本目標になつてくる。そのためには生産、加工、流通、販売、それぞれがこれまでの農業には特に科学的に、そして経済学的にも世界の最先端、高度化を図つて日本の農業をリードする、そんな北海道農業になつて頂きたい。

慰労会の様子



施設課

農産センター 季節従業員慰労会!

農産物選別作業に携わる季節従業員の慰労会が十勝川温泉観月苑にて開催されました。農産物選別作業は9月から翌年6月まで、選別作業が続きますが、その選別業務は池田ブランドの構築に大きく貢献しています。

鈴木組合長からも、皆様方の御尽力あって良質な製品が維持できるとの、日頃の労をねぎらうお言葉を頂きました。

美味しい料理と楽しいゲーム、カラオケと英気を養しなって頂き皆様と交流を強める楽しい時間となりました。

施設課としましては今後も 安全、安心して働く職場づくりに努めてまいりたいと思います。

(記事・農産部施設課 本郷浩二三)

管理課

救命救急講習会を開催 ～救命救急知識・ AED操作学ぶ～

J Aでは、病気などで倒れた人を救うために、応急手当に関する正しい知識と技術を学ぶ、救命救急講習会を1月18日（月）に、本所会議室で午前と午後の2回実施し、職員40名が参加いたしました。

講習内容は、応急手当の重要性及び、救命処置法の実技として心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の取扱いなど池田消防職員の説明後、トレーニング用マネキンを使い反応の確認から呼吸確認、胸骨圧迫、人口呼吸、AEDの操作という一連の応急措置方法を学びました。

池田消防署の救急車の出動は、平成27年は329件で平均到着時間は約6分です。突然心臓と呼吸が止まり、救命処置の有無による救命の可能性の差は10%以上、AEDによる電気ショックが1分遅れると救命効果が7%～10%低下することを知り、参加者は救命技術の必要性を再認識しました。新人職員も最初は声が小さく恥ずかしさもありましたが、心肺蘇生法を学ぶうちに真剣に熱のこもった講習となりました。

今後、「万が一の時」は講習会の成果を生かし緊急時の対応に備えられるよう、継続した講習会を計画し、救命救急技術が職員全員の身につく取り組みといたしたいと考えております。



AEDの操作を学ぶ様子

青年部

女性交流会

12月12日に青年部女性交流会が行われました。今回は前年度に札幌で開催した際に企画を依頼した一般社団法人「むすび」に再度依頼し開催し、参加者は男性7人、女性8人（うち一人は2次会から参加）でした。

1次会は「十勝農園」で行われました。初めに自己紹介等を各人と数分間行い、終了後に会食をしながらのフリートークとなりました。料理には参加者が作っている作物のユリ根、ネバリスター、小豆等や「いけだ牛」を使用した料理が提供されました。

2次会は「フラゴリーノ」で行われ、クリスマスも近いと言うことでbingoゲームを行い、用意したプレゼントの交換が行われ大いに盛り上りました。その後は参加者の経営の紹介等が行われ、池田町や農業の魅力の紹介も交え会話に花を咲かせていました。

今回の交流会では「むすび」の協力もあり5組のカップルができたということです。2次会終了後も、仲良くなれた人達での3次会に向かった人も多くいたようで、有意義な交流会になったと思います。



ネバリスター部会

ネバリスター 婦人研修会開催

1月26日にネバリスター部会婦人研修会を開催致しました。始めに施設課本郷職員より選果施設、H27年産の選果状況について説明がありました。参加者が最も知りたがっていた粗選の基準についての話では、

「これずっとどうするか迷っていたの。」「こんなのは製品に入れていいの？」など質疑応答が充実した内容となりました。

その後の懇談会では、店頭PR販売の話やネバリスターが消費地で非常に求められていることを説明致しました。「私最初は店頭販売に行きたくなかったけど、行ってみて考え方が変わった。また行きたい！」などの話も出ました。

今後とも婦人研修等のネバリスターに関わる全ての人が団結できる機会を作り、消費地に美味しいネバリスターを提供できるよう取り組んで参ります。参加して頂いた皆様、ありがとうございました。

(記事・農産部農産課 上野 駿)



農協の事業理念とは

農協は信用事業を中心に共済事業や購買・販売事業など総合的な事業を行っています。そもそも農協の各種事業はどのような理念で成り立っているのでしょうか。

「共済事業」

共済事業の「済」という字は、「救う、助ける」という意味があり、ともに助け合うことが事業の理念です。協同組合の共済事業が制度化されたのは戦後のことですが、それと類似した助け合いの事業は古くからあったようです。災害等で困った時に村民が基金を積み立て、いざという時はその基金から援助するというのが事業の基本的な仕組みです。

現在の農協の共済制度は、北海道の農協組織が全国に先駆け、相互扶助の精神で火災共済を始めに事業展開したのが始まりです。現在は火災共済以外に生命共済、自動車共済などがありますが、特筆すべき共済では、

建物更生共済」「建更」があります。一般的の火災保険では地震などには対応していないため、地震に対応するために別に地震保険と契約する必要があります。しかし、建物更生共済では、一つの契約で火災や自然災害地震などすべての災害を補償する仕組みとなっています。これは、自然条件の厳しい北海道において、組合員同士がお互いに必要性を認めることを通じて、独自に創られた制度です。まさに助け合いの精神が生かされています。

協同組合と報徳

No.17

給油課 より

利別SS 得情報



こまめなオイル交換で機械長持ち

「トラクター等オイル」取りまとめ

※オールラウンドD、リムラR3・R4は
昨年より約1,000円お得。

一次の取りまとめ及び配送は締め切りとなっておりますが、以降3月中までの受注につきましては、取りまとめ価格対応致します。

尚、配送は致しかねますので、給油所にて直取りとなります。



農作業中のパンクのリスクを減らしましよう

トラクター・トラック・AGタイヤ取りまとめ

期間／御安心ください。近日お知らせFAXいたします。

片減・ヒビ割れは交換が必要です。今のうちに点検しましょう。減ったタイヤは燃費にも影響します。冬の寒さはバッテリーにダメージ。交換目安は5年です。調子悪いな・おかしいな?は交換のサインかも。

金融共済課より

J A バンク 教育ローン

- ★高校以上の進学費用として
- ★ひとり暮らしの費用として
- ★無理のない返済方法で



固定金利 年 2.35%

お使いみち 入学金・授業料・学費（高校・専門学校・大学）
アパート家賃等教育に関する費用

お借入金額 10万円～500万円（所要金額の範囲内）

お借入期間 6ヶ月～13年6ヶ月（在学期間+7年6ヶ月）
JA住宅ローンご利用者は、在学期間+9年

ご返済方法 元利均等払い
(毎月返済、年2回返済、ボーナス月増額返済)

担保・保障 担保 不要です
保証 当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただけます
保証料は別途必要になります

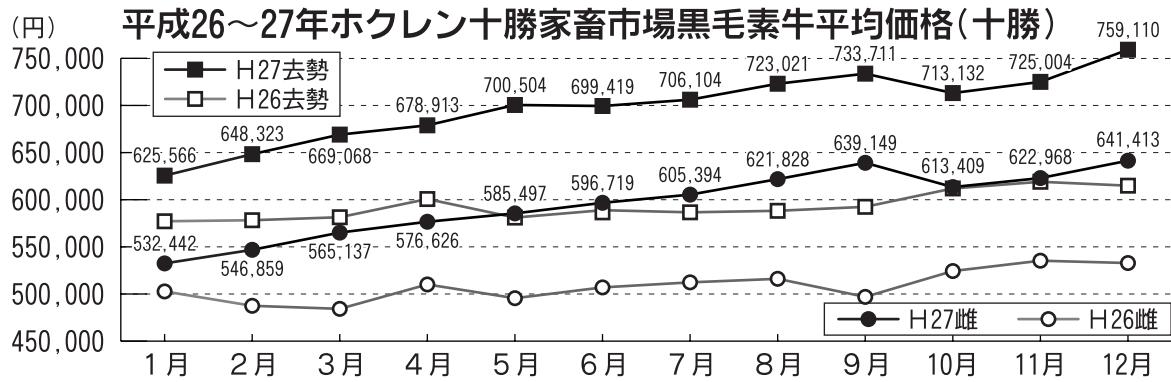
詳しくは

十勝池田町農業協同組合
金融共済課 ☎ 572-3131



畜産部通信

畜産部
畜産課



12月黒毛素牛出荷区分別成績

【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	十勝	和牛素牛	684	759,110
	池田	マニュアル参加牛	465	768,372
	池田	マニュアル認定牛	75	815,818
雌	十勝	和牛素牛	545	641,413
	池田	マニュアル参加牛	385	639,624
	池田	マニュアル認定牛	34	682,814
	十勝	和牛素牛	45	636,216
	池田	マニュアル参加牛	37	633,259
	池田	マニュアル認定牛	3	680,400

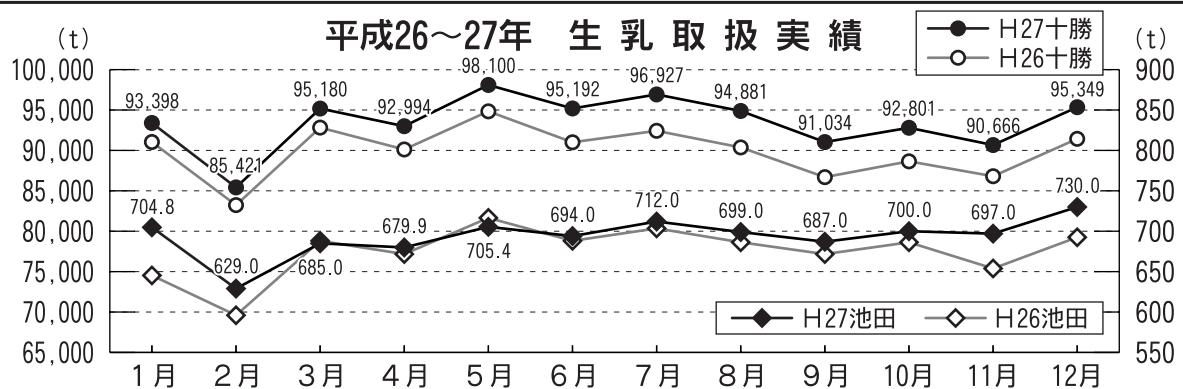
12月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
5日	黒毛去勢	A-5	2,540
		A-4	2,457
		A-3	2,292
	黒毛メス	A-5	2,642
		A-4	2,424
		A-3	2,259
12日	F1去勢	B-3	1,621
		B-2	1,417
		B-3	1,547
	F1メス	B-2	1,424



平成26~27年 生乳取扱実績



12月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2日	乳牛育成	471	385,727
16日	乳牛初妊	957	700,423
	乳牛経産	141	419,951

12月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	119,457
F1オス初生	251,889
F1メス初生	171,373
廃用牛	188,807



川合地区
十 河 孝 行 さん
(32歳)

北海道に戻ってきた初めの年は、父・学さんから「就農する前に他の農家で勉強してこ」と言われ、父の知り合いの農家で半年ほど実習をした経験がある。大学では農業について学んでいたわけではなく、「就農当時はわからぬいことがたくさんあった。」仕事は「父と母の手伝いをしながら一つ一つ覚えていく

Vol.20 未来人 Mirai Bito

プロフィール

家族は父・学さん、母・和代さん、祖母・榮子さんの4人家族で畑作を営む。

札幌光星高校を卒業後、京都にある立命館大学文学部地理学科に進学し4年間修学する。その後、京都にある割烹料理屋で1年間働いたのち就農。今年で就農8年目。今年度は青年部書記長を務める。

「海外旅行をするのが好きです」と話してくれたのは、今年度青年部書記長を務める十河孝行さん。今までオーストラリア・カナダ・インドネシア・ハイ・台湾に行った経験があるという。

大学を卒業してからは京都にある割烹料理屋で働き始めた。しかし、農家を継ぐと思われていた弟・克行さんが就職をしたため、後継ぎがいなくなってしまい、「このまま農家を終わらせるのはもったいない」と感じ就農を決意した。

「草取り！」と速答。畑の枚数が多く、川合以外の地区にも畑があるので、結構時間がかかるとのこと。ただ、「他の地区の方々と一緒に大変なことを聞いてみると、農作業をしていて大変なことを聞いてみると、「草取り！」と見せる。



で勉強してこ」とと言われば、父の知り合いの農家で半年ほど実習をした経験がある。大学では農業について学んでいたわけではなく、大学では農業について学んだわけではなく、「就農当時はわからぬいことがたくさんあった。」仕事は「父と母の手伝いをしながら一つ一つ覚えていく

青い就農1年目から入部し、現在では書記長を務める。青年部の積み立て研修でハワイに、十勝地区農

ました」と当時振り返る。機械作業などではすぐ走らせるのが難しかったが、「今ではだいぶまっすぐ走れるようになりました。」と笑顔を見せる。

農作業をしていて大変なことを聞いてみると、「草取り！」と速答。畑の枚数が多く、川合以外の地区にも畑があるので、結構時間がかかるとのこと。ただ、「他の地区の方々と一緒に大変なことを聞いてみると、「草取り！」と見せる。

今年度は書記長として役員になったことで、「十勝の青年部の方々と交流する機会が増え、良い経験になった」と振り返る。

今後の中長期目標について聞くと、「一つ一つ丁寧に、手を抜かずによつていきた」と話してくれた。

理事会の動き

第11回

〈平成28年1月28日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入・脱退・資格変更について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 12月末基準決算見込みについて
- (4) 平成27年末組勘整理実績について
- (5) 特定組合員の年末整理状況及び負債残高について
- (6) 共計品の精算について
- (7) 平成28年産農作物の作付予定面積の集計結果について
- (8) 不良債権の処理方針について

★ 議案 ★

- (1) 組合員資格変動並びに出資金持分減口承認願いについて
- (2) 労働保険事務組合事務処理規程の一部改正について
- (3) 特定個人情報取扱規程の一部改正について
- (4) 自治監査結果の報告について
- (5) 事業評価結果報告並びに次年度行動計画について
- (6) 平成28年度各種事業に対する利用料金料率の設定について
- (7) 地区懇談会の開催について

★ 協議事項 ★

- (1) 平成28年度固定資産取得計画(案)について
- (2) 十勝地区農協青年部協議会海外研修視察への参加について

今月の一枚



「御用聞き訪問」を実施

1月13日(水)～15日(金)にかけて、農協管農部の渉外活動と、農業融資等の聞き取り調査として『御用聞き訪問』を実施した時の様子です。

組合員の皆様のお宅をご訪問して、お困り事をご相談頂き、問題解決を図ることを目的として取組みました。

インフルエンザの流行の時期は例年1月から2月がピークとのことです。予防接種をしていても罹ってしまうこともありますので、しっかりと手洗いうがいをする・体温を整えて抵抗力をつける・室内を適度な湿度に保つ(インフルエンザウイルスは湿度に弱いなど予防対策を行いましょう!)

(杉山)

編
集
後
記